

2024 年度

經濟經營学部

経済学科

# I. 経済学科専門科目のカリキュラム (2021年度以降入学生に適用)

## 1. カリキュラムの特徴

### I. 専門科目群の構成

専門科目群は、3グループから構成されています。(1) 新入生のための、経済学を学ぶ動機づけや、経済学習の基礎についての手ほどきをねらいとした「導入科目群」と、(2) 経済学の専門的な基礎力を涵養することを目的とし、経済分析に必要な主要科目を学ぶための「専門基礎科目群」、(3) 現状分析と応用力の修得に向け、「専門基礎科目群」で鍛錬された経済、法律、情報の基礎力を前提として、さらに専門性を向上させるための「プログラム科目群」です。

経済学科は「現代経済コース」と「キャリア・アップ・プログラム(CUP)コース」の2コース制をとっています。「プログラム科目群」は、現代経済コースでは「国際経済プログラム」と「地域経済プログラム」に分かれており、また、キャリア・アップ・プログラム(CUP)コースは「公共政策(公務員養成)プログラム」、「金融(FP)プログラム」、「情報(IT)プログラム」に分かれています。

これらの科目は、それぞれの目的に応じて、「導入科目群」は1年次、「専門基礎科目群」は1～3年次、「プログラム科目群」は2～4年次に配当されています。

専門科目群の構成	ねらい	履修方法
導入科目群	基礎的な学力の修得	6単位 <b>必修</b>
専門基礎科目群	専門的な基礎学力の修得	I群10単位以上、II群8単位以上、III群8単位以上を含む、34単位以上 <b>選択必修</b>
ゼミナール		4単位 <b>必修</b>
プログラム科目群	現状分析と応用力の修得	プログラム選択必修科目8単位以上を含む16単位以上 <b>選択必修</b>

### II. 4年間一貫したゼミナール教育

経済学科では、専門科目での学習をさらに深めるために4年間一貫したゼミナール教育を設けています。

#### 【プロ・ゼミナール】

1年次を対象とした基礎的なゼミナールです。現代社会の基礎知識を自主的に学習するため、1クラス20名前後としており、教員と学生との緊密な交流を通して、学生により充実した学生生活を定着させることを目標としています。

#### 【専門ゼミナールI・II・III・卒業論文】

2年次から4年次を対象とした専門的なゼミナールです。専門知識とその応用能力の修得、報告・討論の実践を通じて、自分の頭で考え、諸情勢に的確に対応できる専門的職業人の育成を目標としています。

さらに4年次には、それまでに学んだ知識に基づき、自ら研究課題を設定し、その分析・研究を通じて、自己の

思索を深める卒業論文やゼミナール論文を書くこともできます。

年次	科目名	必選区分	科目数	単位	備考
1年次	プロ・ゼミナール	必修	1	2	必ず履修し、単位を修得することが課程修了の要件
2年次	専門ゼミナールⅠ	必修	1	4	必ず履修し、単位を修得することが課程修了の要件
3年次	専門ゼミナールⅡ	選択必修	1	4	
4年次	専門ゼミナールⅢ	選択必修	1	4	原則、専門ゼミナールⅡを修得していなければ履修できない。
	卒業論文	選択必修	1	4	専門ゼミナールⅢを履修していなければ履修できない。

## Ⅱ. 経済学科専門科目 (2021 年度以降入学生に適用)

### 1. 必修科目・選択必修科目・選択科目

専門科目には、「必修科目」、「選択必修科目」、「選択科目」があります。

「必修科目」とは、必ず履修し、単位を修得することが課程修了（卒業）の要件となっている科目のことです。

「選択必修科目」とは、各科目群から指定された科目数・単位数以上を修得することが課程修了（卒業）の要件となっている科目のことです。

「選択科目」とは、各人の目標と希望に従って選択し、履修・単位修得する科目です。「必修科目」と「選択必修科目」以外の科目が該当します。

### 2. プロ・ゼミナール、ビジネス演習

経済学科のプロ・ゼミナール（2単位）およびビジネス演習（2単位）は、第1学年前期および後期配当の必修科目です。プロ・ゼミナールの単位認定は、出席率が8割以上であることを原則とし、成績評価はプロ・ゼミナールでの学修状況を総合的に判断し、各担当教員が行います。ビジネス演習の単位認定は、出席率が8割以上であることを原則とし、成績評価はビジネス演習での学修状況を総合的に判断し、各担当教員が行います。

### 3. 専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ

経済学科の専門ゼミナールⅠ（4単位）は第2学年配当の必修科目、専門ゼミナールⅡ（4単位）は第3学年、専門ゼミナールⅢ（4単位）は第4学年配当のプログラム科目群のプログラム科目です。主体的にゼミナール活動に参加してください。

専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲの履修に関しては次のように取り扱います。

1. 専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲは、原則として継続して履修することが望ましい。ただし、専門ゼミナールⅠから専門ゼミナールⅡでは、担当教員を変更することができます。専門ゼミナールⅢおよび卒業論文は、原則として専門ゼミナールⅡから担当教員を変更できません。自動的に履修登録されます。
2. 専門ゼミナールⅠの募集は第1学年後期に実施します。
3. 専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲの履修は、各学年に1ゼミナールとします。
4. 専門ゼミナールⅢについては、専門ゼミナールⅡを修得していなければ、原則として履修することができません。ただし、3年次に専門ゼミナールⅠを修得した者が、4年次で専門ゼミナールⅢを履修希望する場合は、担当教員の判断により、履修を許可することがあります。

## 4. 卒業論文（4年生以上）

経済学科における卒業論文は、専門ゼミナールⅢの単位とは区別されています。その取り扱いについては以下のとおりです。

1. 卒業論文を作成提出する者は、第4学年に専門ゼミナールⅢを履修し、ゼミナール担当教員の指導を受けなければなりません。卒業論文は自動的に履修登録されます。
2. 卒業論文は、ゼミナール指定された期日に担当教員へ提出してください。
3. 卒業論文の単位の認定は、ゼミナール担当教員が行います。
4. 卒業学年（第4学年）に卒業論文を履修し、その年度に卒業論文を提出できなかった場合、または提出したが所定の水準に達しなかった場合には、次年度においてゼミナール担当教員の承認を得られた者のみ、前期に提出することができます（卒業延期者で前期末卒業対象者に該当）。また、ゼミナール担当教員が在外研究員・国内研究員となるなど教員の都合や、大学の事情により、卒業論文が前期開講となる場合があります。前期に提出する場合の提出期限は、7月下旬としています。
5. 卒業論文の指導教員が事情により指導不能となった場合、論文の提出希望者は、担当者を変更することとします。

## 5. 卒業論文・ゼミナール論文の報告（4年生以上）

提出された卒業論文とゼミナール論文（専門ゼミナールⅢで作成する予定）は、その要旨を「卒業論文・ゼミナール論文要旨集」にまとめ公表しています。この要旨集は学生の利用に供するとともに、学科の教育活動の成果として公表します。

## 6. 産業調査演習（3年生以上）

経済学科の産業調査演習を履修するにあたり、次の点を注意してください。

1. 履修希望者は必ず第1回目の授業に出席し、担当教員の許可を受けなければなりません。許可を受けた学生のみが履修登録をすることができます。
2. 例年15～20名程度の履修人数制限を設けています。
3. 履修にあたり、この科目の実習料を指定された期限までに納入しなければなりません。また、一旦納入された実習料は、理由の如何を問わず返却いたしません。

## 7. FP2級の受検（2年生以上）

ファイナンシャル・プランニングA～Dの履修者は、ファイナンシャル・プランニング技能検定2級（国家検定）を受検することを推奨します。受検申込方法等は、当該授業中に担当教員から案内します。

## 8. 再試験制度（4年生以上）

経済学科においては、卒業学年生を対象に再試験を実施しています。再試験は、卒業学年において30点以上で不合格になった経済学科専門科目（ただし、夏期・秋期集中科目、専門ゼミナール、卒業論文、実験・実習等を伴う科目は再試験の対象外科目）に対して行う試験で、次の要領で実施されます。

### 1. 対象者（以下の3要件をすべて満たす者）

- ①卒業学年生のみが対象となります。
- ②卒業（課程修了）要件をあと8単位以内で満たすことができる者が対象となります。  
ただし、その8単位以内というのは、2. の対象科目に限ります。
- ③再試験受験にあたって、当該科目担当教員の指示に従わなければなりません。

### 2. 対象科目

再試験の対象科目は、卒業学年において30点以上で不合格になった経済学科専門科目の中で卒業に必要な修得単位数の不足単位（8単位以内）分とします。（ただし、夏期・秋期集中科目、プロ・ゼミナール、ビジネス演習、専門ゼミナールⅠ、専門ゼミナールⅡ、専門ゼミナールⅢ、卒業論文、実験・実習等を伴う科目は再試験対象科目となりません。）

### 3. 評価

評価については、所定の基準により低減措置をとります。（最高でC評価）

### 4. 受験料

再試験を受験する者は、指定された期間に再試験料（1科目1,000円）を添えて所定の手続きをしなければなりません。

### 5. その他

- ①再試験に対する追試験は実施しません。
- ②前期末卒業時の再試験は実施しません。
- ③担当教員が後期留研等で不在の場合は実施しません。

## 9. オフィスアワー

オフィスアワーとは、学生から授業内容のことなどの学業や学生生活などについての様々なことに関して質問・相談に応じるために設けられている、教員の研究室を訪問できる時間帯です。教員は、オフィスアワーの時間帯には、研究室におりますので、学生は研究室を訪ね、授業についての質問、学習方法、履修、今後の進路など様々な相談をすることができ、指導・支援を受けることができます。

各専任教員のオフィスアワーの時間帯と研究室は、Webシラバスに掲載してあります。各教員が週に2回合計2時間程度設定していますので、積極的に利用してください。

## 10. コース・プログラム選択

経済学科では、経済学などの社会科学に関する理解を深めるために、あるいは、卒業後の就職などの進路を明確にするとともに、経済学などの専門を深めていく中で、職業を意識し、専門性とキャリア形成を確実にするためにコース制を導入しています。1年生後期に実施されるコース選択のためのガイダンスにて、現代経済コースとキャリアアッププログラムコースの2コースからコースを選択します。現代経済コースには、国際経済プログラムと地域経済プログラムの2プログラムが設けられて

います。また、キャリアアッププログラムコースには、公共政策（公務員養成）プログラム、金融（F P）プログラム、情報（I T）プログラムの3プログラムが設けられています。以上の合計5つのプログラムの中から1つのプログラムを選択します。

なお、2年生と3年生の4月にコース・プログラムの変更を認めます。希望者は、教育支援課経済学科窓口へ問い合わせてください。

### （1）「現代経済コース」

現代経済コースは、国際的視野と地域的視点を持って現代経済を多角的に分析する能力を養うことを目的としており、2プログラムから構成されています。どちらのプログラムとも、**基礎的能力**として、ビジネス能力検定、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどのコンピュータ活用能力などのIT技術、社会調査に関する技術を身につけます。同時に、**経済学の基礎思考**（ミクロ経済ならびにマクロ経済の視点）を身につけます。

1)「**国際経済プログラム**」では、グローバル化した産業社会に積極的に身を乗り出し、国際社会に貢献できる人材の養成を目指します。このため、日本経済ならびにアメリカ・ヨーロッパ・アジア諸国をはじめとする世界経済の実態（企業の現場）を理解し、国際的視野で思考し、分析する能力を身につけていきます。

このコースの学生は、主に企業（製造業や小売・卸売ならびに各種サービス業）への就職に力を発揮します。

2)「**地域経済プログラム**」では、地域社会に貢献できる人材の養成を目指します。このため、特に、地域（とりわけ北海道）に焦点を当て、フィールド調査で地域社会の現場を理解しながら、地域視点で産業や文化を含む社会を思考し、分析する能力を身につけていきます。

このコースの学生は、**北海道地域社会の活性化**を目指し、**地域に密着した企業（地元企業）**への就職に力を発揮します。

### （2）キャリア・アップ・プログラム（CUP）コース

このコースは、**3プログラム**から構成されています。大学卒業後の進路として特定の分野に関心を持っている学生を対象に、就業力を身につけ、資格や就職に結びつけるプログラムです

1)「**公共政策（公務員養成）プログラム**」では、経済の専門科目と公務員対策科目によって、公務員として社会的貢献ができる人材の養成を目指します。**基礎的能力**として、経済専門科目のミクロ経済学、マクロ経済学、財政学などに加えて地域経済に関連する知識を身につけます。同時に、公務員対策特別演習で一般知識、一般知能などの教養試験にも対応できる能力を身につけます。

このプログラムの学生は、**公務員試験の突破**はもちろん、**特に地方公務員（警察官、消防官などを含む）**への就職に力を発揮します。

2)「**金融（F P）プログラム**」は、幅広い金融の知識を修得した専門家「ファイナンシャル・プランナー」として、社会的に貢献できる人材の養成を目指します。**基礎的能力**として経済専門科目の金融論、国際金融論、ファイナンス論など経済・金融の基礎知識を身につけます。同時に、ファイナンシャル・プランニングA～Dで資産運用・保険・税制・公的年金・不動産などの金融に関わる幅広い知識と実務を学ぶことによって、マネープラン・ライフプランをサポートする能力を身につけます。

このプログラムの学生は、**ファイナンシャル・プランニング技能検定2級**（国家検定）の資格取得と**銀行、証券会社、保険会社などの金融機関**への就職を目指し、**特に地方銀行（信用金庫、信用組合、農業協同組合、漁業協同組合などを含む）**への就職に力を発揮します。

3)「**情報（I T）プログラム**」は、情報の専門科目によって、情報管理技術者として社会的貢献で

きる人材の養成を目指します。**基礎的能力**として、プログラミング、データベース、情報セキュリティ、情報通信ネットワークなど IT 全般にわたる基礎知識を身につけます。

このプログラムの学生は、**ITパスポート試験**、**情報セキュリティマネジメント試験**および**基本情報技術者試験**などの国家資格の取得を目標に、**システムエンジニア**、**情報管理技術者**への就職に力を発揮します。

## 11. コースと履修方法

2年次のコース・プログラム選択に伴い、プログラム毎に選択必修科目が異なります。専門科目は、選択したプログラム科目群を含めて、**76単位以上**修得しなければなりません。詳細は、「15.カリキュラム一覧表および課程修了の要件」の自身の選択したコース・プログラムを参照してください。



## 1 2. コース・プログラム別 履修をすすめる科目 (2021年度以降入学生に適用)

### 【現代経済コース:国際経済プログラム】

4年生	<b>【プログラム科目群】</b> 卒業論文 専門ゼミナールⅢ				
3年生	専門ゼミナールⅡ		日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 国際経済論Ⅰ 国際経済論Ⅱ 国際金融論	応用マクロ経済学 応用ミクロ経済学 経済学特別講義	
2年生	<b>【ゼミナール】</b> 専門ゼミナールⅠ	<b>【専門基礎科目群:Ⅱ群】</b> 社会政策Ⅰ 日本経済史Ⅰ 西洋経済史Ⅰ	<b>【専門基礎科目群:Ⅲ群】</b> 金融論Ⅱ	<b>【専門基礎科目群:Ⅳ群】</b> 経済経営学と現代社会	職業と人生B 英語ⅢB 英語ⅣB
<b>【専門基礎科目群:Ⅰ群】</b> ミクロ経済学Ⅱ      マクロ経済学Ⅱ		ミクロ経済学Ⅰ      マクロ経済学Ⅰ      統計学Ⅰ      政治経済論Ⅰ			
1年生	<b>【導入科目群】</b> プロ・ゼミナール      ビジネス演習      経済学入門				職業と人生A 英語ⅠA 英語ⅡA 英語ⅠB 英語ⅡB

### 【現代経済コース:地域経済プログラム】

4年生	<b>【プログラム科目群】</b> 卒業論文 専門ゼミナールⅢ				
3年生	専門ゼミナールⅡ		地域経済論 北海道経済論A 北海道経済論B 日本経済論Ⅰ	経済学特別講義 産業調査演習 社会調査演習 環境経済論 北海道経済史	
2年生	<b>【ゼミナール】</b> 専門ゼミナールⅠ	<b>【専門基礎科目群:Ⅱ群】</b> 社会政策Ⅰ 社会政策Ⅱ 日本経済史Ⅰ 日本経済史Ⅱ	<b>【専門基礎科目群:Ⅲ群】</b> 財政学Ⅱ	<b>【専門基礎科目群:Ⅳ群】</b> 経済経営学と現代社会	職業と人生B 英語ⅢB 英語ⅣB
<b>【専門基礎科目群:Ⅰ群】</b> ミクロ経済学Ⅱ      マクロ経済学Ⅱ		財政学Ⅰ 金融論Ⅰ 経済統計学			
1年生	ミクロ経済学Ⅰ      マクロ経済学Ⅰ      統計学Ⅰ      政治経済論Ⅰ				職業と人生A 英語ⅠA 英語ⅡA 英語ⅠB 英語ⅡB
<b>【導入科目群】</b> プロ・ゼミナール      ビジネス演習      経済学入門					

アンダーラインは必修科目

【キャリア・アップ・プログラムコース: 公共政策(公務員養成)プログラム】

4年生	【プログラム科目群】 卒業論文 専門ゼミナールⅢ				
3年生	専門ゼミナールⅡ	【専門基礎科目群:Ⅲ群】 財政学Ⅱ	地域経済論 北海道経済論A 地方財政論 日本経済論Ⅰ 経済学特別講義	公務員対策特別演習G 公務員対策特別演習E 公務員対策特別演習F	【教養科目】 職業と人生C 職業と人生D
2年生	財政学Ⅰ データ解析基礎Ⅰ データ解析基礎Ⅱ	【ゼミナール】 専門ゼミナールⅠ	公務員対策特別演習A 公務員対策特別演習B	公務員対策特別演習C 公務員対策特別演習D	職業と人生B 英語ⅢB 英語ⅣB
1年生	【導入科目群】 プロ・ゼミナール    ビジネス演習    経済学入門	【専門基礎科目群:Ⅰ群】 ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 統計学Ⅱ 政治経済論Ⅱ	【専門基礎科目群:Ⅱ群】 社会政策Ⅰ 社会政策Ⅱ	【専門基礎科目群:Ⅳ群】 経済経営学と現代社会	日本国憲法 職業と人生A 英語ⅠA 英語ⅡA 英語ⅠB 英語ⅡB

【キャリア・アップ・プログラムコース: 金融(FP)プログラム】

4年生	【プログラム科目群】 卒業論文 専門ゼミナールⅢ				
3年生	専門ゼミナールⅡ	【専門基礎科目群:Ⅲ群】 金融論Ⅱ 財政学Ⅱ	【専門基礎科目群:Ⅳ群】 ビジネス数学演習	国際金融論 ファイナンス論 日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ	【教養科目】 職業と人生C 職業と人生D
2年生	金融論Ⅰ 財政学Ⅰ	【専門基礎科目群:Ⅱ群】 社会政策Ⅰ 社会政策Ⅱ 経済数学	企業論	ファイナンシャル・プランニングA ファイナンシャル・プランニングB ファイナンシャル・プランニングC ファイナンシャル・プランニングD	職業と人生B 英語ⅢB 英語ⅣB
1年生	【導入科目群】 プロ・ゼミナール    ビジネス演習    経済学入門	【ゼミナール】 専門ゼミナールⅠ	民法入門 簿記	【専門基礎科目群:Ⅰ群】 ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 統計学Ⅱ	キャリア数学A 職業と人生A 英語ⅠA 英語ⅡA 英語ⅠB 英語ⅡB

アンダーラインは必修科目

【キャリア・アップ・プログラムコース:情報(IT)プログラム】

4年生	<p><b>【プログラム科目群】</b> 卒業論文 専門ゼミナールⅢ</p>	
3年生	<p>専門ゼミナールⅡ</p> <p>データベース基礎 情報セキュリティ論 プログラミングⅡ</p> <p>AI論 ファイナンス論</p>	<p><b>【教養科目】</b> 職業と人生C 職業と人生D</p>
2年生	<p><b>【専門基礎科目群:Ⅲ群】</b> データ解析基礎Ⅰ データ解析基礎Ⅱ 金融論Ⅰ 経済統計学</p> <p><b>【ゼミナール】</b> 専門ゼミナールⅠ</p> <p><b>【専門基礎科目群:Ⅰ群】</b> 統計学Ⅱ</p> <p><b>【専門基礎科目群:Ⅱ群】</b> 経済数学</p> <p><b>【専門基礎科目群:Ⅳ群】</b> 情報通信ネットワーク論 社会情報学 経済経営学と現代社会</p> <p>プログラミングⅠ コンピュータアーキテクチャ IT演習A IT演習B</p>	<p>職業と人生B 英語ⅢB 英語ⅣB</p>
1年生	<p>ミクロ経済学Ⅰ 統計学Ⅰ</p> <p>マクロ経済学Ⅰ 政治経済論Ⅰ</p> <p><b>【導入科目群】</b> プロ・ゼミナール    ビジネス演習    経済学入門</p> <p>IT基礎</p>	<p>職業と人生A 英語ⅠA 英語ⅡA 英語ⅠB 英語ⅡB</p>

アンダーラインは必修科目

# 13. 経済学科 カリキュラムマップ

経済学科の学位授与方針

本学科は、以下の能力を修得した者に学士（経済学）の学位を授与します。

- (1)人文、社会、自然科学について幅広い教養の基礎知識を身につけている。
- (2)経済学の基礎概念、経済の仕組みや制度に関する基本的な知識を身につけている。
- (3)国際的視野と地域視点を持ち、現代経済の諸現象を多角的に分析する専門的な能力を修得している。
- (4)現代経済の諸問題を見つげだし、解決のための課題を整理して、論文にまとめて表現する能力、及び諸問題を解決する能力を身につけている。
- (5)体系的に修得した専門分野の知識・技能の活用力を高め、自律した人間として市民社会の形成に主体的に参加し、かつ産業社会で活躍できる能力を修得している。

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
学位授与方針 (1)	全ての教養科目			
学位授与方針 (2)	経済学入門  ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 統計学Ⅰ 政治経済論Ⅰ	ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 統計学Ⅱ 政治経済論Ⅱ 日本経済史Ⅰ 西洋経済史Ⅰ 社会政策Ⅰ データ解析基礎Ⅰ  企業論 経済経営学と現代社会	経済数学 経済統計学 日本経済史Ⅱ 西洋経済史Ⅱ 社会政策Ⅱ データ解析基礎Ⅱ 財政学Ⅰ 金融論Ⅰ	財政学Ⅱ 金融論Ⅱ
学位授与方針 (3)			応用ミクロ経済学 応用マクロ経済学 計量経済学 データ解析 日本経済論Ⅰ 国際経済論Ⅰ  地域経済論 北海道経済論A 北海道経済史 産業調査演習 労働経済論 ファイナンス論 経済学特別講義 環境経済論 農業経済論 地方財政論	日本経済論Ⅱ 国際経済論Ⅱ 国際金融論 開発経済論  北海道経済論B
学位授与方針 (4)	プロ・ゼミナール	専門ゼミナールⅠ	専門ゼミナールⅡ	専門ゼミナールⅢ 卒業論文
学位授与方針 (5)	ビジネス演習 憲法入門 民法入門 簿記 IT基礎  社会調査入門	情報通信ネットワーク論 コンピュータアーキテクチャ IT演習A IT演習B プログラミングⅠ  社会調査方法論 社会調査基礎演習 社会情報学 資料収集法  公務員対策特別演習A 公務員対策特別演習B 公務員対策特別演習C 公務員対策特別演習D ファイナンシャル・プランニングA ファイナンシャル・プランニングB ファイナンシャル・プランニングC ファイナンシャル・プランニングD	ビジネス数学演習  プログラミングⅡ データベース基礎 情報セキュリティ論 AⅠ論  社会調査演習 地域社会論 地域メディア論 公務員対策特別演習E 公務員対策特別演習F 公務員対策特別演習G	

## 14. 専門科目開講科目一覧表

① <<2021年度以降入学生に適用>>

授業科目名	単位	学年	期間	担当者	備考
<b>【導入科目群】</b>					
経済学入門(1)	2	1	前期	浅川 雅己	必修科目 事前に登録してあります
経済学入門(2)	2	1	前期	片山 一義	
プロ・ゼミナール(1)	2	1	前期	浅川 雅己	必修科目 事前に登録してあります
プロ・ゼミナール(2)	2	1	前期	井上 仁	
プロ・ゼミナール(3)	2	1	前期	王 佳星	
プロ・ゼミナール(4)	2	1	前期	大國 充彦	
プロ・ゼミナール(5)	2	1	前期	高橋 寛人	
プロ・ゼミナール(6)	2	1	前期	田代 歩	
プロ・ゼミナール(7)	2	1	前期	南川 高範	
プロ・ゼミナール(8)	2	1	前期	森田 彦	
プロ・ゼミナール(9)	2	1	前期	山田 智哉	
プロ・ゼミナール(10)	2	1	前期	湯川 郁子	
ビジネス演習(1)	2	1	後期	浅川 雅己	必修科目 事前に登録してあります
ビジネス演習(2)	2	1	後期	井上 仁	
ビジネス演習(3)	2	1	後期	王 佳星	
ビジネス演習(4)	2	1	後期	大國 充彦	
ビジネス演習(5)	2	1	後期	高橋 寛人	
ビジネス演習(6)	2	1	後期	田代 歩	
ビジネス演習(7)	2	1	後期	南川 高範	
ビジネス演習(8)	2	1	後期	森田 彦	
ビジネス演習(9)	2	1	後期	山田 智哉	
ビジネス演習(10)	2	1	後期	湯川 郁子	
<b>【専門基礎科目群: I群】</b>					
ミクロ経済学Ⅰ	2	1	後期	王 佳星	
マクロ経済学Ⅰ	2	1	後期	南川 高範	
政治経済論Ⅰ	2	1	後期	浅川 雅己	
統計学Ⅰ	2	1	後期	山田 智哉	
ミクロ経済学Ⅱ	2	2	前期	王 佳星	
マクロ経済学Ⅱ	2	2	前期	南川 高範	
政治経済論Ⅱ	2	2	前期	浅川 雅己	
統計学Ⅱ	2	2	後期	山田 智哉	
<b>【専門基礎科目群: II群】</b>					
日本経済史Ⅰ	2	2	前期	湯川 郁子	
西洋経済史Ⅰ	2	2	前期	藤森 信吉	
社会政策Ⅰ	2	2	前期	片山 一義	
経済数学	2	2	後期	田代 歩	
日本経済史Ⅱ	2	2	後期	湯川 郁子	
西洋経済史Ⅱ	2	2	後期	藤森 信吉	
社会政策Ⅱ	2	2	後期	金 仁子	
<b>【専門基礎科目群: III群】</b>					
経済統計学	2	2	前期	山田 智哉	
財政学Ⅰ	2	2	後期	田代 歩	
金融論Ⅰ	2	2	後期	井上 仁	
データ解析基礎Ⅰ	2	2	前期	高田 洋	
データ解析基礎Ⅱ	2	2	後期	高田 洋	
財政学Ⅱ	2	3	前期	田代 歩	
金融論Ⅱ	2	3	前期	井上 仁	

【専門基礎科目群:IV群】					
憲法入門	2	1	前期	森山 弘二	
民法入門	2	1	前期	篠田 優	
社会調査入門	2	1	後期	大國 充彦	
IT基礎	2	1	前期	小池 英勝	
簿記	2	1	前期	宮津 尚美	
情報通信ネットワーク論	2	2	後期	小池 英勝	
社会調査方法論	2	2	前期	小内 純子	
社会調査基礎演習	2	2	前期	大國 充彦	
資料収集法	2	2	後期	大國 充彦	
社会情報学	2	2	後期	大國 充彦	
企業論	2	2	前期	汪 志平	
ビジネス数学演習	2	3	後期	小池 英勝	
経済経営学と現代社会	2	2	前期	末富 弘	
【ゼミナール】					
専門ゼミナールI	4	2	通年	浅川 雅己	必修科目
専門ゼミナールI	4	2	通年	井上 仁	
専門ゼミナールI	4	2	通年	王 佳星	
専門ゼミナールI	4	2	通年	大國 充彦	
専門ゼミナールI	4	2	通年	小池 英勝	
専門ゼミナールI	4	2	通年	高田 洋	
専門ゼミナールI	4	2	通年	高橋 寛人	
専門ゼミナールI	4	2	通年	田代 歩	
専門ゼミナールI	4	2	通年	森 邦恵	
専門ゼミナールI	4	2	通年	森田 彦	
専門ゼミナールI	4	2	通年	山田 智哉	
専門ゼミナールI	4	2	通年	湯川 郁子	
【プログラム科目】					
日本経済論I	2	3	前期	南川 高範	
日本経済論II	2	3	後期	南川 高範	
国際金融論	2	3	後期	高橋 寛人	
国際経済論I	2	3	前期	高橋 寛人	
国際経済論II	2	3	後期	高橋 寛人	
応用ミクロ経済学	2	3	後期	王 佳星	
経済学特別講義	2	3	後期	山田 智哉	
北海道経済史	2	3	後期	湯川 郁子	
応用マクロ経済学	2	3	前期	南川 高範	
労働経済論	2	3	後期	金 仁子	
計量経済学	2	3	前期	王 佳星	
環境経済学	2	3	後期	浅川 雅己	
地域経済論	2	3	前期	森 邦恵	
北海道経済論A	2	3	後期	森 邦恵	
北海道経済論B	2	3	前期	湯川 郁子	
地方財政論	2	3	後期	田代 歩	
産業調査演習	4	3	通年	森 邦恵	
地域社会論	2	3	前期	小内 純子	
開発経済論	2	3	前期	南川 高範	
ファイナンス論	2	3	後期	井上 仁	
農業経済論	2	3	前期	毛利 泰大	
地域メディア論	2	3	後期	小内 純子	
公務員対策特別演習A	2	2	前期	大内亮・小山順子・小林功典	
公務員対策特別演習B	2	2	後期	大内亮・東中博子	
公務員対策特別演習C	2	2	前期	吉岡 侑太	
公務員対策特別演習D	2	2	後期	吉岡 侑太	
公務員対策特別演習E	2	3	前期	吉岡 侑太	
公務員対策特別演習F	2	3	後期	吉岡 侑太	
公務員対策特別演習G	2	3	前期	花田邦生・豊富英貴・小林功典	

ファイナンシャル・プランニングA	2	2	前期	中谷 俊雄	
ファイナンシャル・プランニングB	2	2	前期	井上 仁	
ファイナンシャル・プランニングC	2	2	後期	中谷 俊雄	
ファイナンシャル・プランニングD	2	2	後期	中谷 俊雄	
プログラミングI	2	2	後期	森田 彦	
プログラミングII	2	3	前期	森田 彦	
IT演習A	2	2	前期	小池 英勝	
IT演習B	2	2	前期	小池 英勝	
コンピュータアーキテクチャ	2	2	後期	小池 英勝	
データベース基礎	2	3	前期	森田 彦	
情報セキュリティ論	2	3	後期	小池 英勝	
AI論	2	3	後期	森田 彦	
データ解析	2	3	前期	高田 洋	
社会調査演習	4	3	後期	高田 洋	
<b>【プログラム科目群:全コース・全プログラム共通科目】</b>					
専門ゼミナールII	4	3	通年	浅川 雅己	
専門ゼミナールII	4	3	通年	井上 仁	
専門ゼミナールII	4	3	通年	王 佳星	
専門ゼミナールII	4	3	通年	大國 充彦	
専門ゼミナールII	4	3	通年	片山 一義	
専門ゼミナールII	4	3	通年	小池 英勝	
専門ゼミナールII	4	3	通年	高田 洋	
専門ゼミナールII	4	3	通年	高橋 寛人	
専門ゼミナールII	4	3	通年	田代 歩	
専門ゼミナールII	4	3	通年	森 邦恵	
専門ゼミナールII	4	3	通年	森田 彦	
専門ゼミナールII	4	3	通年	山田 智哉	
専門ゼミナールII	4	3	通年	湯川 郁子	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	浅川 雅己	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	井上 仁	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	王 佳星	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	片山 一義	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	高田 洋	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	高橋 寛人	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	田代 歩	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	南川 高範	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	森 邦恵	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	森田 彦	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	山田 智哉	
専門ゼミナールIII	4	4	通年	湯川 郁子	
卒業論文	4	4	通年	浅川 雅己	
卒業論文	4	4	通年	井上 仁	
卒業論文	4	4	通年	王 佳星	
卒業論文	4	4	通年	片山 一義	
卒業論文	4	4	通年	高田 洋	
卒業論文	4	4	通年	高橋 寛人	
卒業論文	4	4	通年	田代 歩	
卒業論文	4	4	通年	南川 高範	
卒業論文	4	4	通年	森 邦恵	
卒業論文	4	4	通年	森田 彦	
卒業論文	4	4	通年	山田 智哉	
卒業論文	4	4	通年	湯川 郁子	

# 15. カリキュラム一覧表および課程修了の要件 (2024 年度以降入学生)

## ① 現代経済コース: 国際経済プログラム

区分		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	履 修 方 法			
教 養 科 目	基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 日本語A・B・C・D 応用日本語A・B 各①	英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 各①			英語ⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB、ⅢB、ⅣBから4単位以上 外国人留学生のみ「日本語A・B・C・D」「応用日本語A・B」から4単位以上			
		コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②							
		論述・作文A、論述・作文B 各②							
	人文・社会・健康・自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界の言語と日本語、日本国憲法、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、アジア事情B、心理学、健康科学、スポーツと健康、スポーツA、日本史概説(教)、西洋史概説(教)、東洋史概説(教)、人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教)、経済学概説(教) 各②							
	キャリア科目群	職業と人生A② キャリア数学A①	スポーツB② 職業と人生B② キャリア数学B①	企業経営と仕事②	職業と人生C② ビジネス数学②	職業と人生D② エアライン・サービス演習Ⅰ② エアライン・サービス演習Ⅱ②	「職業と人生A」は履修必修		
グローバル科目群	異文化グループワークA②、異文化グループワークB②、プロジェクトマネジメント入門②、海外スタディⅠ②、グローバルインターンシップⅠ②、短期国際インターンシップA④ 短期国際インターンシップB④								
計						教養科目計 28単位以上			
区分		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次				
専 門 基 礎 科 目 群	導入科目群	経済学入門② プロ・ゼミナール②	ビジネス演習②			6単位必修			
	I群	ミクロ経済学Ⅰ② 政治経済論Ⅰ②	マクロ経済学Ⅰ② 統計学Ⅰ②	ミクロ経済学Ⅱ② 政治経済論Ⅱ②	マクロ経済学Ⅱ② 統計学Ⅱ②	10単位以上			
	II群			日本経済史Ⅰ② 社会政策Ⅰ② 日本経済史Ⅱ② 社会政策Ⅱ②	西洋経済史Ⅰ② 経済数学② 西洋経済史Ⅱ②	8単位以上			
	III群			経済統計学② 金融論Ⅰ② データ解析基礎Ⅰ②	財政学Ⅰ② データ解析基礎Ⅱ②	財政学Ⅱ②	金融論Ⅱ②	8単位以上	
	IV群	憲法入門② 社会調査入門② 簿記②	民法入門② IT基礎②	情報通信ネットワーク論② 社会調査基礎演習② 社会情報学② 企業論②	社会調査方法論② 資料収集法② 経済経営学と現代社会②	ビジネス数学演習②			
	ゼミナール	専門ゼミナールⅠ④				4単位必修			
	プログラム 選択必修科目					日本経済論Ⅰ② 国際経済論Ⅰ② 応用ミクロ経済学② 応用マクロ経済学②	国際金融論② 労働経済論② 経済学特別講義②	8単位以上	選択必修科目 8単位を含む 16単位以上
	プログラム 科目					日本経済論Ⅱ② 環境経済論②	国際経済論Ⅱ② ファイナンス論②	計量経済学② 地域経済論②	
	現代経済コース 国際経済プログラム 以外の プログラム科目群の 科目			公務員対策特別演習A② 公務員対策特別演習C② ファイナンシャル・プランニングA② ファイナンシャル・プランニングB② ファイナンシャル・プランニングC② ファイナンシャル・プランニングD② コンピュータアーキテクチャ② IT演習A②	公務員対策特別演習B② 公務員対策特別演習D② ファイナンシャル・プランニングA② ファイナンシャル・プランニングB② ファイナンシャル・プランニングC② ファイナンシャル・プランニングD② プログラミングⅠ② IT演習B②	北海道経済論B② データベース基礎② 公務員対策特別演習E②	プログラミングⅡ② 公務員対策特別演習F②		
					農業経済論② 公務員対策特別演習G② 社会調査演習④	地方財政論② 情報セキュリティ論② 地域メディア論②	産業調査演習④ AI論② 北海道経済史②	地域社会論② データ解析②	
計	各プログラム必修科目、選択必修科目として単位修得した科目を除き、経済学科の専門科目あるいは教養科目から選択できる単位数					0～20単位			
合計						課程修了(卒業)要件 124単位以上			

専門科目  
計 76  
単位以上



② 現代経済コース:地域経済プログラム

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修方法		
教養科目	基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 日本語A・B・C・D 応用日本語A・B 各①	英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 各①			英語ⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB、ⅢB、ⅣBから4単位以上 外国人留学生のみ「日本語A・B・C・D」「応用日本語A・B」から4単位以上		
		コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②						
		論述・作文A、論述・作文B 各②						
	人文・社会・健康・自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界の言語と日本語、日本国憲法、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、アジア事情B、心理学 健康科学、スポーツと健康、スポーツA、日本史概説(教)、西洋史概説(教)、東洋史概説(教)、人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教)、経済学概説(教) 各②						
	キャリア科目群	職業と人生A② キャリア数学A①	職業と人生B② キャリア数学B①	職業と人生C② ビジネス数学②	職業と人生D② エアライン・サービス演習Ⅰ②	エアライン・サービス演習Ⅱ②	「職業と人生A」は履修必修	
グローバル科目群	異文化グループワークA②、異文化グループワークB②、プロジェクトマネジメント入門②、海外スタディⅠ②、グローバルインターンシップⅠ②、短期国際インターンシップA④ 短期国際インターンシップB④							
計						教養科目計 28単位以上		
区分		1年次	2年次	3年次	4年次			
専門基礎科目群	導入科目群	経済学入門② プロ・ゼミナール②	ビジネス演習②			6単位必修		
	I群	ミクロ経済学Ⅰ② 政治経済論Ⅰ②	マクロ経済学Ⅰ② 統計学Ⅰ②	ミクロ経済学Ⅱ② 政治経済論Ⅱ②	マクロ経済学Ⅱ② 統計学Ⅱ②	10単位以上		
	II群			日本経済史Ⅰ② 社会政策Ⅰ② 日本経済史Ⅱ② 社会政策Ⅱ②	西洋経済史Ⅰ② 経済数学② 西洋経済史Ⅱ②	8単位以上		
	III群			経済統計学② 金融論Ⅰ② データ解析基礎Ⅰ②	財政学Ⅰ② データ解析基礎Ⅱ②	財政学Ⅱ② 金融論Ⅱ②	8単位以上	
	IV群	憲法入門② 社会調査入門② 簿記②	民法入門② IT基礎②	情報通信ネットワーク論② 社会調査基礎演習② 社会情報学② 企業論②	社会調査方法論② 資料収集法② 経済経営学と現代社会②	ビジネス数学演習②	8単位以上	
ゼミナール			専門ゼミナールⅠ④			4単位必修		
プログラム科目群	プログラム選択必修科目			日本経済論Ⅰ② 地域経済論② 北海道経済論B② 応用ミクロ経済学②	日本経済論Ⅱ② 北海道経済論A② 経済学特別講義②	8単位以上		
	プログラム科目			地方財政論② データ解析② 北海道経済史② 専門ゼミナールⅡ④	農業経済論② 社会調査演習④	産業調査演習④ 地域メディア論②	地域社会論② 環境経済論②	
現代経済コース 地域経済プログラム 以外の プログラム科目群の 科目			公務員対策特別演習A② 公務員対策特別演習B② 公務員対策特別演習C② 公務員対策特別演習D② ファイナンシャル・プランニングA② ファイナンシャル・プランニングB② ファイナンシャル・プランニングC② ファイナンシャル・プランニングD② IT演習A② コンピュータアーキテクチャ②	公務員対策特別演習B② 公務員対策特別演習D② 国際経済論Ⅰ② 労働経済論② データベース基礎② 公務員対策特別演習E② ファイナンス論② IT演習B② プログラミングⅠ②	国際経済論Ⅰ② 応用マクロ経済学② 国際金融論② プログラミングⅡ② 公務員対策特別演習F②	8単位以上		
				国際経済論Ⅱ② 公務員対策特別演習G②	計量経済学② 開発経済論②	情報セキュリティ論② 卒業論文④	卒業論文④ AI論②	
計	各プログラム必修科目、選択必修科目として単位修得した科目を除き、経済学科の専門科目あるいは教養科目から選択できる単位数					0~20単位		
合計						課程修了(卒業)要件 124単位以上		

専門科目計 76単位以上

選択必修科目 8単位を含む 16単位以上

③ キャリア・アップ・プログラム(CUPコース):公共政策(公務員養成)プログラム

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		履修方法		
教 養 科 目	基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 日本語A・B・C・D 応用日本語A・B 各①		英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 各①						英語ⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB、ⅢB、ⅣBから4単位以上 外国人留学生のみ「日本語A・B・C・D」「応用日本語A・B」から4単位以上		
		コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②										
		論述・作文A、論述・作文B 各②										
	人文・社会・健康・自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界の言語と日本語、日本国憲法、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、アジア事情B、心理学 健康科学、スポーツと健康、スポーツA、日本史概説(教)、西洋史概説(教)、東洋史概説(教)、人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教)、経済学概説(教) 各②										
	キャリア科目群	職業と人生A② キャリア数学A①		スポーツB② 職業と人生B② キャリア数学B① 企業の経営と仕事②		職業と人生C② ビジネス数学②		職業と人生D② エアライン・サービス演習Ⅰ② エアライン・サービス演習Ⅱ②		「職業と人生A」は履修必修		
		グローバル科目群	異文化グループワークA②、異文化グループワークB②、プロジェクトマネジメント入門②、海外スタディⅠ②、グローバルインターンシップⅠ②、短期国際インターンシップA④		スポーツB② 海外スタディⅡ②、グローバルインターンシップⅡ②							
計									教養科目計 28単位以上			
区分		1年次		2年次		3年次		4年次		履修方法		
専 門 基 礎 科 目 群	導入科目群	経済学入門② プロ・ゼミナール② ビジネス演習②								6単位必修		
	I群	ミクロ経済学Ⅰ② 政治経済論Ⅰ②	マクロ経済学Ⅰ② 統計学Ⅰ②	ミクロ経済学Ⅱ② 政治経済論Ⅱ②	マクロ経済学Ⅱ② 統計学Ⅱ②					10単位以上	I群10単位、 II群8単位、 III群8単位 を含む、 34単位以上	
	II群			日本経済史Ⅰ② 社会政策Ⅰ② 日本経済史Ⅱ② 社会政策Ⅱ②	西洋経済史Ⅰ② 経済数学② 西洋経済史Ⅱ②					8単位以上		
	III群			経済統計学② 金融論Ⅰ② データ解析基礎Ⅰ②	財政学Ⅰ② データ解析基礎Ⅱ②	財政学Ⅱ②	金融論Ⅱ②			8単位以上		
	IV群	憲法入門② 社会調査入門② 簿記②	民法入門② IT基礎②	情報通信ネットワーク論② 社会調査基礎演習② 社会情報学② 企業論②	社会調査方法論② 資料収集法② 経済経営学と現代社会②	ビジネス数学演習②						
	ゼミナール			専門ゼミナールⅠ④						4単位必修		
	プログラム 選択必修科目			公務員対策特別演習A② 公務員対策特別演習C②	公務員対策特別演習B② 公務員対策特別演習D②	公務員対策特別演習E② 地域経済論②	公務員対策特別演習F②			8単位以上	選択必修科目 8単位を含む 16単位以上	
	プログラム 科目					地方財政論② 公務員対策特別演習G② 地域社会論②	北海道経済論A② データ解析②	日本経済論Ⅰ② 社会調査演習④	経済学特別講義② 産業調査演習④			
							専門ゼミナールⅡ④	専門ゼミナールⅢ④	卒業論文④			
	CUPコース 公共政策プログラム 以外の プログラム科目群の 科目			ファイナンシャル・プランニングA② ファイナンシャル・プランニングB② ファイナンシャル・プランニングC② ファイナンシャル・プランニングD② コンピュータアーキテクチャ② プログラミングⅠ② IT演習A②	国際経済論Ⅰ② 応用ミクロ経済学② 応用マクロ経済学② 北海道経済論B② プログラミングⅡ②	労働経済論② 国際金融論② 日本経済論Ⅱ② データベース基礎② ファイナンス論②						
				農業経済論② 情報セキュリティ論② 北海道経済史②	国際経済論Ⅱ② AⅠ論②	環境経済論② 開発経済論②	計量経済学② 地域メディア論②					
計	各プログラム必修科目、選択必修科目として単位修得した科目を除き、経済学科の専門科目あるいは教養科目から選択できる単位数								0~20単位			
合計									課程修了(卒業)要件 124単位以上			

④ キャリア・アップ・プログラム(CUPコース):金融(FP)プログラム

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		履修方法		
教 養 科 目	基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 日本語A・B・C・D 応用日本語A・B 各①		英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 各①						英語ⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB、ⅢB、ⅣBから4単位以上 外国人留学生のみ「日本語A・B・C・D」「応用日本語A・B」から4単位以上		
		コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②										
		論述・作文A、論述・作文B 各②										
	人文・社会・健康・自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界の言語と日本語、日本国憲法、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、アジア事情B、心理学 健康科学、スポーツと健康、スポーツA、日本史概説(教)、西洋史概説(教)、東洋史概説(教)、人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教)、経済学概説(教) 各②										
	キャリア科目群	職業と人生A② キャリア数学A①	職業と人生B② キャリア数学B①	職業と人生C② キャリア数学B①	職業と人生D② キャリア数学B①	企業経営と仕事②	職業と人生C② ビジネス数学②	職業と人生D② エアライン・サービス演習Ⅰ②	職業と人生D② エアライン・サービス演習Ⅱ②	「職業と人生A」は履修必修		
グローバル科目群	異文化グループワークA②、異文化グループワークB②、プロジェクトマネジメント入門②、海外スタディⅠ②、グローバルインターンシップⅠ②、短期国際インターンシップA④ 海外スタディⅡ②、グローバルインターンシップⅡ② 短期国際インターンシップB④											
計	教養科目計 28単位以上											
区分		1年次		2年次		3年次		4年次				
専 門 基 礎 科 目 群	導入科目群	経済学入門② プロ・ゼミナール②		ビジネス演習②						6単位必修		
	I群	ミクロ経済学Ⅰ② 政治経済論Ⅰ②	マクロ経済学Ⅰ② 統計学Ⅰ②	ミクロ経済学Ⅱ② 政治経済論Ⅱ②	マクロ経済学Ⅱ② 統計学Ⅱ②					10単位以上	I群10単位、 II群8単位、 III群8単位 を含む、 34単位以上	
	II群			日本経済史Ⅰ② 社会政策Ⅰ② 日本経済史Ⅱ② 社会政策Ⅱ②	西洋経済史Ⅰ② 経済数学② 西洋経済史Ⅱ②					8単位以上		
	III群			経済統計学② 金融論Ⅰ② データ解析基礎Ⅰ②	財政学Ⅰ② データ解析基礎Ⅱ②	財政学Ⅱ②	金融論Ⅱ②			8単位以上		
	IV群	憲法入門② 社会調査入門② 簿記②	民法入門② IT基礎②	情報通信ネットワーク論② 社会調査基礎演習② 社会情報学② 企業論②	社会調査方法論② 資料収集法② 経済経営学と現代社会②	ビジネス数学演習②						
	ゼミナール			専門ゼミナールⅠ④						4単位必修		
	プログラム 選択必修科目			ファイナンシャル・プランニングA② ファイナンシャル・プランニングB② ファイナンシャル・プランニングC② ファイナンシャル・プランニングD②			国際金融論② ファイナンス論②	日本経済論Ⅰ②			8単位以上	選択必修科目 8単位を含む 16単位以上
	プログラム 科目					経済学特別講義② 労働経済論②	国際経済論Ⅰ② 応用ミクロ経済学②	応用マクロ経済学② 計量経済学②	日本経済論Ⅱ②			
					公務員対策特別演習A② 公務員対策特別演習C② コンピュータアーキテクチャ② IT演習A②	公務員対策特別演習B② 公務員対策特別演習D② プログラミングⅠ② IT演習B②	地域経済論② 北海道経済論A② データベース基礎② 公務員対策特別演習E②	北海道経済論B② プログラミングⅡ② 公務員対策特別演習F②				
					農業経済論② 地域社会論② データ解析② 公務員対策特別演習G②	環境経済論② 地域メディア論② 社会調査演習④ 北海道経済史②	地方財政論② 開発経済論② AI論②	産業調査演習④ 国際経済論Ⅱ② 情報セキュリティ論②				
計	各プログラム必修科目、選択必修科目として単位修得した科目を除き、経済学科の専門科目あるいは教養科目から選択できる単位数											
合計	0~20単位 課程修了(卒業)要件 124単位以上											

⑤ キャリア・アップ・プログラム(CUPコース):情報(IT)プログラム

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修方法		
教 養 科 目	基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 日本語A・B・C・D 応用日本語A・B 各①	英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 各①			英語ⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB、ⅢB、ⅣBから4単位以上 外国人留学生のみ「日本語A・B・C・D」「応用日本語A・B」から4単位以上		
		コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②						
		論述・作文A、論述・作文B 各②						
	人文・社会・健康・自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界の言語と日本語、日本国憲法、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、アジア事情B、心理学 健康科学、スポーツと健康、スポーツA、日本史概説(教)、西洋史概説(教)、東洋史概説(教)、人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教)、経済学概説(教) 各②						
	キャリア科目群	職業と人生A② キャリア数学A①	職業と人生B② キャリア数学B① 企業の経営と仕事②	職業と人生C② ビジネス数学②	職業と人生D② エアライン・サービス演習Ⅰ② エアライン・サービス演習Ⅱ②		「職業と人生A」は履修必修	
グローバル科目群	異文化グループワークA②、異文化グループワークB②、プロジェクトマネジメント入門②、海外スタディⅠ②、グローバルインターンシップⅠ②、短期国際インターンシップA④ 短期国際インターンシップⅡ②、グローバルインターンシップⅡ② 短期国際インターンシップB④							
計						教養科目計 28単位以上		
区分		1年次	2年次	3年次	4年次			
専 門 基 礎 科 目 群	導入科目群	経済学入門② プロ・ゼミナール②	ビジネス演習②			6単位必修		
	I群	ミクロ経済学Ⅰ② 政治経済論Ⅰ②	マクロ経済学Ⅰ② 統計学Ⅰ②	ミクロ経済学Ⅱ② 政治経済論Ⅱ②	マクロ経済学Ⅱ② 統計学Ⅱ②	10単位以上		
	II群			日本経済史Ⅰ② 社会政策Ⅰ② 日本経済史Ⅱ② 社会政策Ⅱ②	西洋経済史Ⅰ② 経済数学② 西洋経済史Ⅱ②	8単位以上		
	III群			経済統計学② 金融論Ⅰ② データ解析基礎Ⅰ②	財政学Ⅰ② データ解析基礎Ⅱ②	財政学Ⅱ② 金融論Ⅱ②	8単位以上	
	IV群	憲法入門② 社会調査入門② 簿記②	民法入門② IT基礎②	情報通信ネットワーク論② 社会調査基礎演習② 社会情報学② 企業論②	社会調査方法論② 資料収集法② 経済経営学と現代社会②	ビジネス数学演習②		
	ゼミナール	専門ゼミナールⅠ④					4単位必修	
	プログラム 選択必修科目			プログラミングⅠ② IT演習A②	コンピュータアーキテクチャ② IT演習B②	データベース基礎② 情報セキュリティ論②	プログラミングⅡ②	8単位以上
	プログラム 科目群					日本経済論Ⅰ② 経済学特別講義② 計量経済学② 専門ゼミナールⅡ④	国際経済論Ⅰ② AI論② 国際金融論② データ解析② ファイナンス論② 社会調査演習④ 専門ゼミナールⅢ④ 卒業論文④	選択必修科目 8単位を含む 16単位以上
	CUPコース 情報プログラム 以外の プログラム科目群の 科目			公務員対策特別演習A② 公務員対策特別演習C② ファイナンシャル・プランニングA② ファイナンシャル・プランニングB② ファイナンシャル・プランニングC② ファイナンシャル・プランニングD②	公務員対策特別演習B② 公務員対策特別演習D②	応用ミクロ経済学② 地域経済論② 北海道経済論A② 公務員対策特別演習E② 労働経済論②	応用マクロ経済学② 日本経済論Ⅱ② 北海道経済論B② 公務員対策特別演習F②	
						農業経済論② 産業調査演習④ 地域メディア論②	環境経済論② 開発経済論② 国際経済論Ⅱ② 公務員対策特別演習G② 地方財政論② 地域社会論② 北海道経済史②	
計	各プログラム必修科目、選択必修科目として単位修得した科目を除き、経済学科の専門科目あるいは教養科目から選択できる単位数					0~20単位		
合計						課程修了(卒業)要件 124単位以上		

## 16. 社会調査士制度

本学科が指定する科目を修得することにより、「社会調査協会」が認定する「社会調査士」資格を取得することができます。社会調査士とは、「インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、統計や世論調査の結果を批判的に検討するなど、社会調査の現場に必要な能力をもった『社会調査の専門家』のことです」(社会調査協会ホームページ <https://jasr.or.jp/students/index.html> より)。学科で必要な科目の単位をとり、卒業時に申請することにより資格を得られます。認定試験などはありません。調査企画から報告書作成までの社会調査の全過程を学習し、社会調査能力を体系的に身につけることができます。また、社会調査を実際に経験し学習する科目(下記のG科目)では実際の社会調査を行います。

(1) 社会調査士資格の認定を受けるためには、次の科目の単位を要件に従い修得する必要があります。

区分	授業科目名	単位	要件	備考
A	社会調査入門	2	必修	
B	社会調査方法論	2	必修	
C	データ解析基礎 I	2	必修	
D	データ解析基礎 II	2	必修	
E	データ解析	2	選択必修	EF から 2 単位以上必修
	計量経済学	2	選択必修	
F	専門ゼミナール I(大國)	4	選択必修	
	社会調査基礎演習	2	選択必修	
G	産業調査演習	4	選択必修	G から 1 科目以上必修
	社会調査演習	4	選択必修	
	専門ゼミナール II(大國)	4	選択必修	

※ 「区分」は社会調査協会にて指定している科目の区分を表している。

(2) 「社会調査士」資格認定申請について

### ① 社会調査士資格申請

- ・(1)の科目の単位を修得したものは、指定された期日までに下記の書類を教育支援課へ提出してください。申請スケジュールと申請方法については別途連絡します。
- ・社会調査士認定申請書 (web 入力にて作成し印刷)
- ・単位取得を証明する書類
- ・卒業を証明する書類
- ・認定審査手数料 (16,500 円) の振込用紙 (受領書) のコピー

### ② 「社会調査士」資格要件科目修得状況証明書の発行について

- ・申請があった場合、教務支援課窓口にて「社会調査士資格要件科目修得状況証明書」を発行します (1部 200円)。
- ・次の条件が満たされる場合、「社会調査士資格要件科目修得状況証明書」は随時発行します。
  - 1) 大学在籍期間が2年以上であること
  - 2) A～Gに対応した区分を3区分以上単位修得していること
  - 3) 単位修得済み区分と履修中の区分の合計が5以上であること

※ ここでいう「区分」は上記の表の「A～G」に対応している

※ E / F 区分は両方単位修得していても1区分と数える

### ③ その他

- ・申請手続きに関しては、一部変更されることもあります。掲示板などを注意してください。
- ・詳しい内容は、社会調査協会のホームページを参照してください。 <http://jasr.or.jp/>